琉球大学学術リポジトリ

タイ・チェンマイにおける日本人長期滞在者のライフスタイル型の移動とそのインパクト

メタデータ	言語:
	出版者: 琉球大学
	公開日: 2017-03-17
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: Duangkaew, Sutpratana, ドゥアンケーオ, スットプラータナー
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/33727

様式第１３号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会　殿

博士論文審査委員会
主査　鈴木規之　印
副査　池田榮史　印
副査　稲村務　印

学位（博士）論文審査の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、学位論文の審査を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号　１３８０９１Ｆ		学生氏名　スットプラータナー・ドゥアンケーオ	
人文社会科学研究科　比較地域文化専攻		主指導教員　鈴木規之 副指導教員　池田榮史、稲村務	
成績評価	学位論文	(合格)　不合格	
論文題目	タイ・チェンマイにおける日本人長期滞在者のライフスタイル型の移動とそのインパクト		
審査要旨	本論文は、ライフスタイル型の移動としてチェンマイに長期滞在する日本人の長期滞在できる条件や現地への適応について分析し、彼らによってタイの現地社会はどのような影響を受けているかを明らかにすることを目的とした国際社会学の研究である。 以上の研究目的のために、論文の前半部分では、先行研究や統計資料を用い、チェンマイに長期滞在する日本人の現状や移住の背景などを明らかにした。後半部分では、社会調査によって得られたデータから日本人長期滞在者の適応に対して、長期滞在を支援する中間組織はどのような役割を担っているか、また日本人長期滞在者はタイ現地社会にどのようなインパクトを与えているのかを社会関係資本を中心の分析概念として研究を行った。 具体的には、チェンマイでのフィールドワーク、日本人長期滞在者およびその周辺を取り巻くタイ人住民への質問紙調査ならびにインタビュー調査を行った。その結果、チェンマイでの日本人長期滞在者の適応には社会関係資本の多寡が大きく影響していること、スムーズな異文化適応のためにはマクロレベルの政策とミクロレベルの個人を繋ぐミドルレベルの支援組織が重要であること、日本人長期滞在者がタイ現地社会において経済の活性化や文化交流を促進する役割を期待されていることなどが明らかになった。 これまで、タイ国内の学会で発表を行い、またタイのJapan Studies Associationやタマサート大学の査読制の学術誌に研究の一部が掲載されるなど、研究者の中でも一定の評価を得ており、論文にも十分に反映された立論は総合的である。本論文は3年間をかけた調査研究の成果であり、以上の観点から審査委員会は博士論文として学位審査基準を満たしていると判断した。		

様式第１４号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会　殿

博士論文審査委員会
主査　鈴木規之　印
副査　池田榮史　印
副査　稲村務　印

最終試験の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、最終試験を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号　１３８０９１Ｆ		学生氏名　スットプラータナー・ドゥアンケーオ	
人文社会科学研究科　比較地域文化専攻		主指導教員　鈴木規之 副指導教員　池田榮史、稲村務	
成績評価	最終試験	(合格)　不合格	
結果要旨	副査池田榮史の総括のもとで、申請のあった博士論文の内容とそれに関連する授業科目について口頭による最終試験を行った。本論文題目は、「タイ・チェンマイにおける日本人長期滞在者のライフスタイル型の移動とそのインパクト」である。以下の三点を軸に試験を行った。 まず、口頭試問での関連質問を行い、本論文が学位の水準に達していることを確認した。次に、本論文に関連する基礎的な専門知識や自らの論文の研究上の位置づけを査読論文等の既発表論文やタイでの研究発表を含めて問い、研究上の貢献があったことを確認した。そして、本論文で取り上げた研究分野に関係する授業科目、「アジア社会学」「比較地域文化」などの視点において、学位に相応しい研究能力とその学識を有していることを確認した。 以上の点から、本審査委員会は、本論文に加え、その分野における学位の水準に達していると認め、最終試験に合格と判断した。		